

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 23 日 (2019.5.23)

【公開番号】特開 2018-13729 (P2018-13729A)

【公開日】平成 30 年 1 月 25 日 (2018.1.25)

【年通号数】公開・登録公報 2018-003

【出願番号】特願 2016-144849 (P2016-144849)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

B 3 2 B 27/08 (2006.01)

B 3 2 B 7/023 (2019.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

G 0 2 F 1/13 1 0 1

B 3 2 B 27/08

B 3 2 B 7/02 1 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 15 日 (2019.4.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

離型フィルム、粘着剤層、光学機能フィルム、第 1 表面保護フィルムおよび第 2 表面保護フィルムがこの順に積層された枚葉状の光学フィルムであって、

前記第 1 表面保護フィルムが、粘着剤層を有する、あるいは自己粘着型であり、

前記第 2 表面保護フィルムが、粘着剤層を有する、あるいは自己粘着型であり、

前記第 1 表面保護フィルムと前記第 2 表面保護フィルムが、同じ構成であり、

枚葉状の光学フィルムにおける各層間の剥離力の大小関係が、離型フィルムと粘着剤層との層間剥離力 A、粘着剤層と光学機能フィルムとの層間剥離力 B、光学機能フィルムと第 1 表面保護フィルムとの層間剥離力 C、第 1 表面保護フィルムと第 2 表面保護フィルムとの層間剥離力 D、とした場合に、 $A < D < C < B$ であり、

前記光学機能フィルムが、厚み 60 μm 以下の偏光フィルムであり、前記偏光フィルムが厚み 10 μm 以下の偏光子を有する、枚葉状の光学フィルム。

【請求項 2】

前記第 1 表面保護フィルムが、第 1 基材フィルム及び第 1 粘着剤層を有し、当該第 1 粘着剤層を介して前記光学機能フィルムに積層されていることを特徴とする請求項 1 に記載の枚葉状の光学フィルム。

【請求項 3】

前記第 2 表面保護フィルムが、第 2 基材フィルム及び第 2 粘着剤層を有し、当該第 2 粘着剤層を介して前記第 1 表面保護フィルムに積層されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の枚葉状の光学フィルム。